



出張講座

NEXCO中日本

高速道路交通安全セミナー

一部抜粋



セミナーの目的

NEXCO

「高速道路交通安全セミナー」とは、

企業、各団体及び学校が開催される学習会・講演会に、社員を派遣し、高速道路上での交通事故の発生状況や交通安全のポイント等の情報を提供いたします。

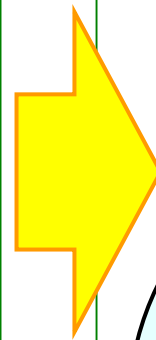
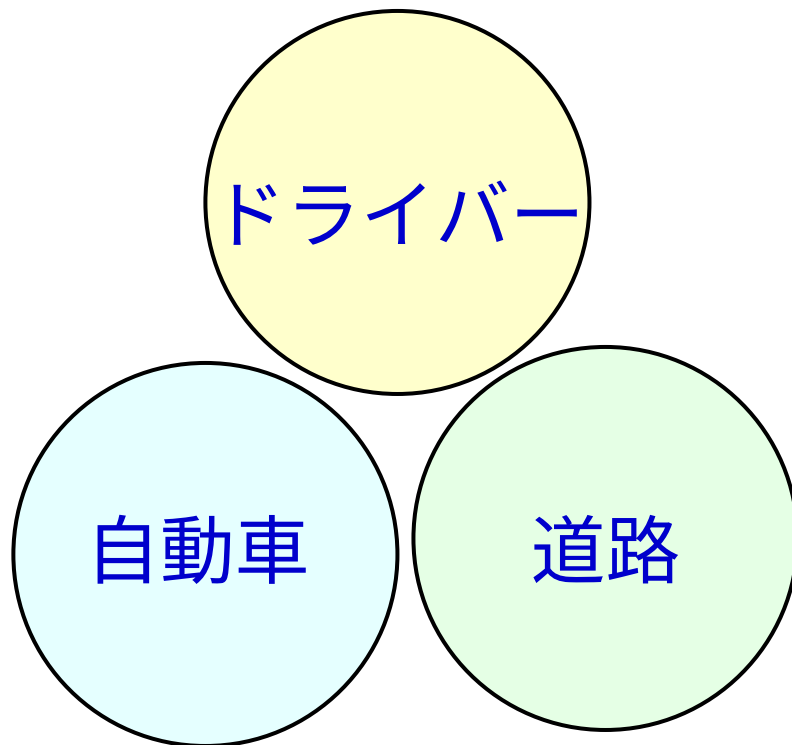
「開催目的」は、

- 高速道路を安全・安心・快適に利用して頂き、「今日も明日も走りたい」と感じていただけるような高速道路空間を提供したいと考えています。
- 安全は、「ドライバー」と「自動車」と「道路」の相乗効果です。特に安全に利用して頂くために、「自動車」と同様に、「高速道路」そのものをよく知って頂きたいと考えています。

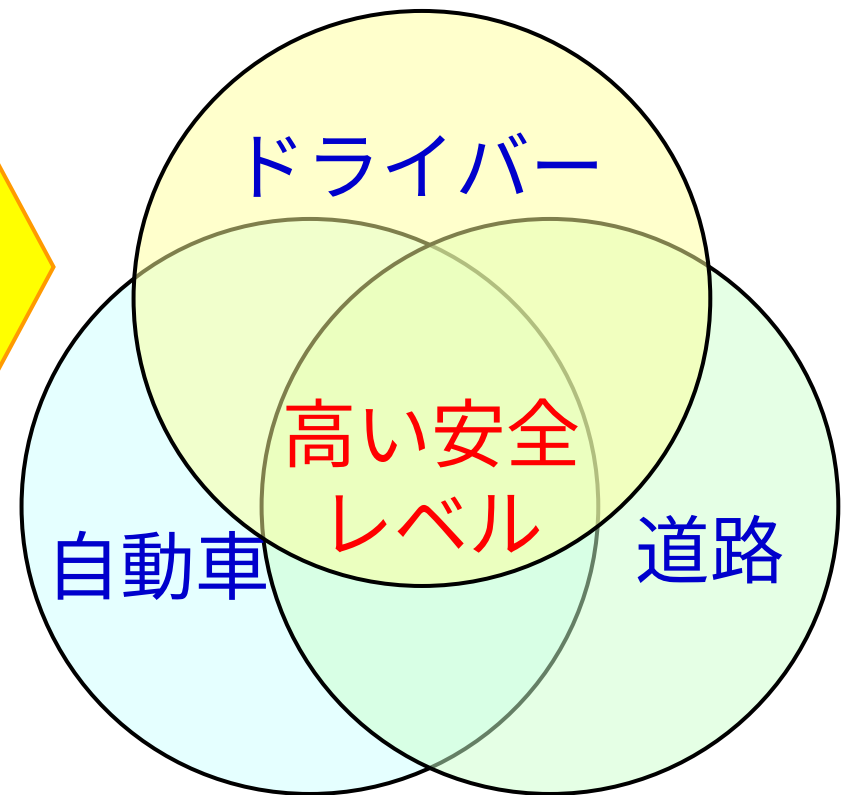
高速道路の安全

NEXCO

安全の要素



安全の要素

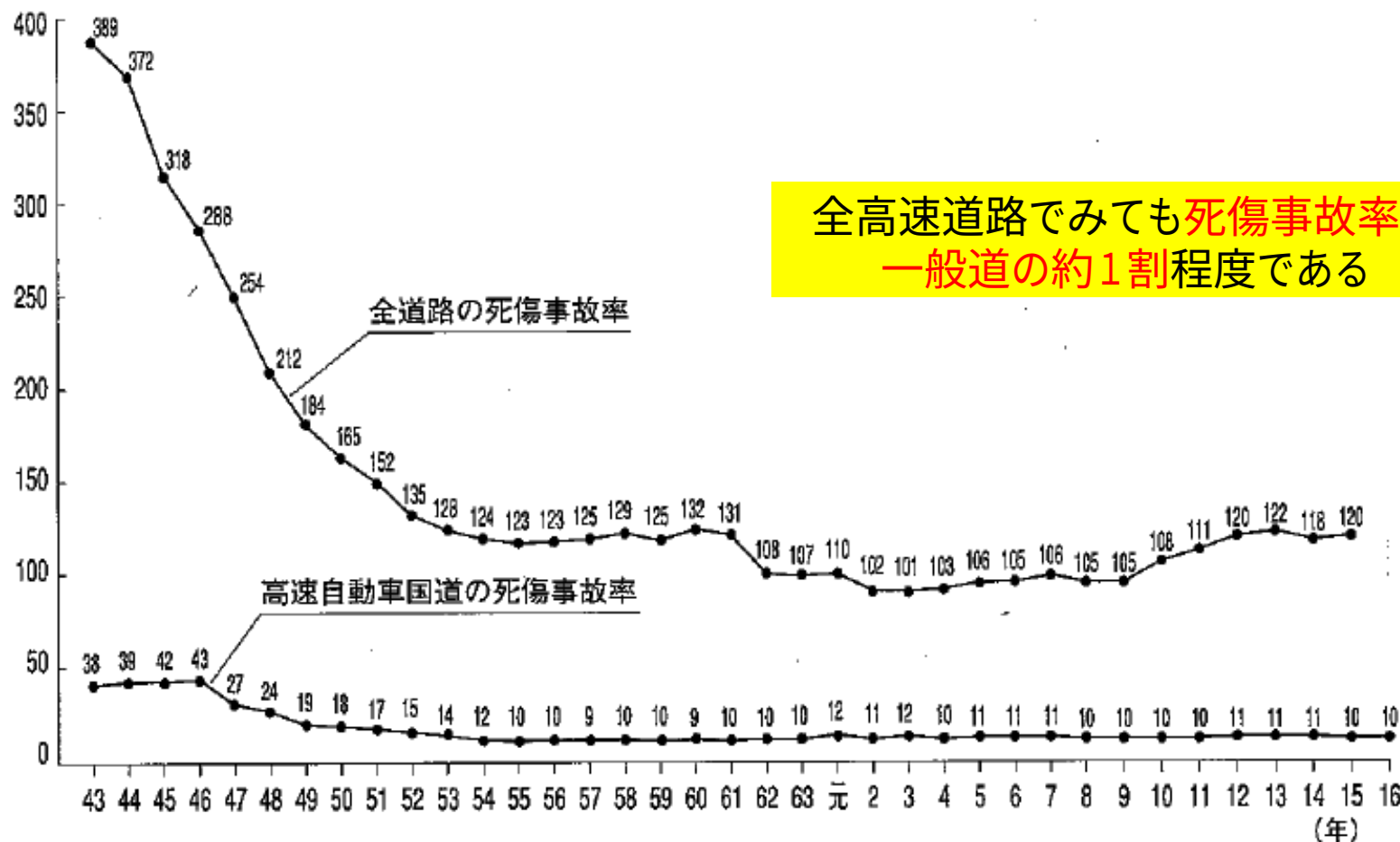


全国高速道路の事故率

NEXCO

高速自動車国道と一般国道等の死傷事故率の比較

(単位=件/億台km)



全高速道路でみても死傷事故率は
一般道の約1割程度である

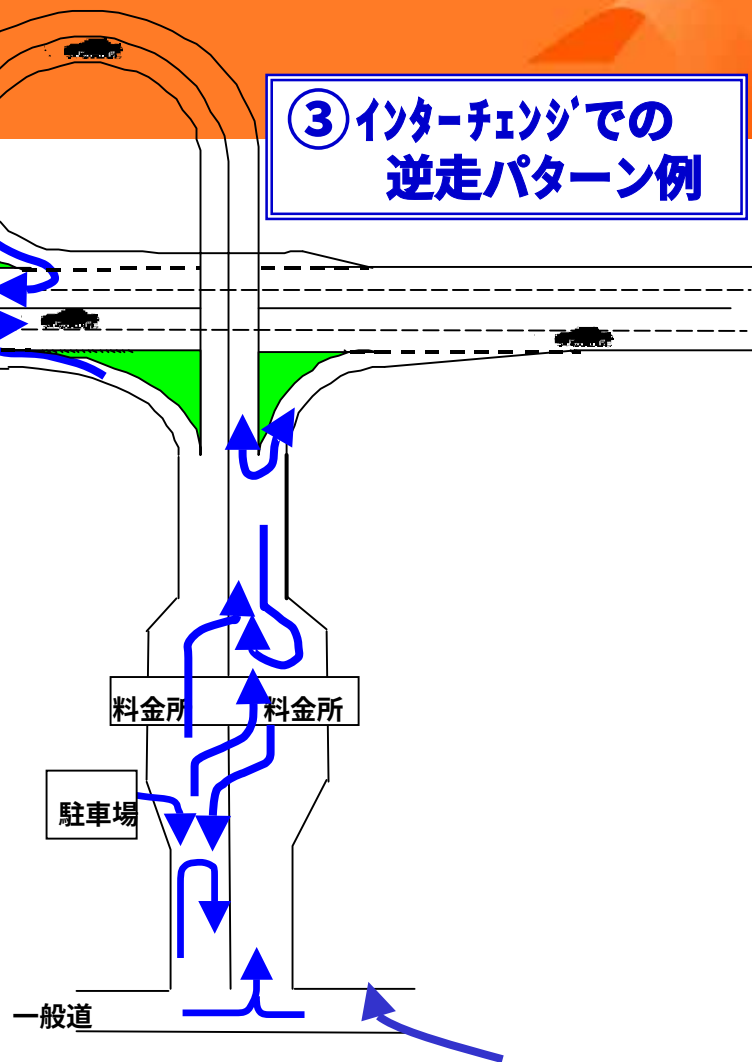
(注) 警察庁資料による。

逆走の発生原因

◆逆走事故発生パターン

	発生割合
①本線	51%
②休憩施設	10%
③インターチェンジ	39%
合計	100%

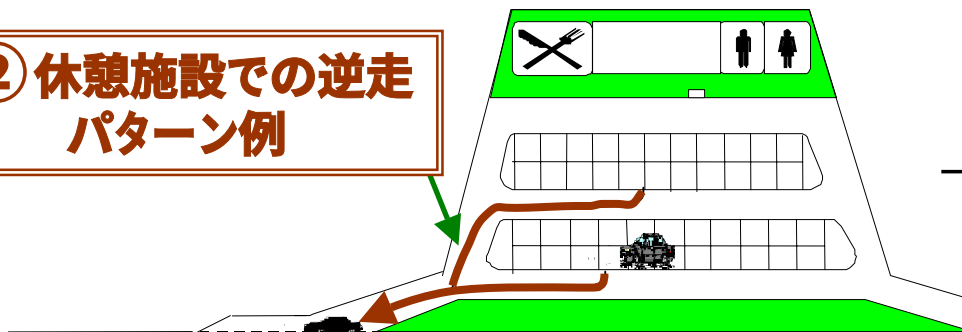
③インターチェンジでの逆走パターン例



①本線上での逆走



②休憩施設での逆走パターン例



全席シートベルトのお願い

NEXCO

～NEXCOからのお願い～

皆様の安全のために、後部座席においてもシートベルトの着用をお願いします。

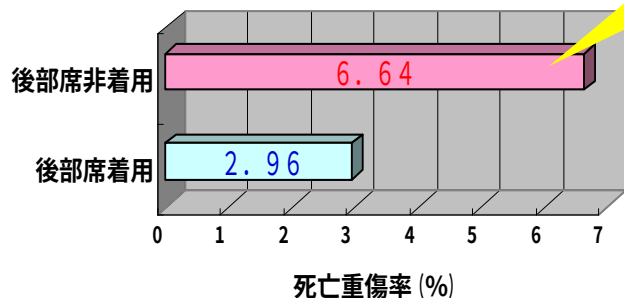
高速道路における、後部座席と前部座席との
車外放出での死者割合

	車外放出の割合
運転手	17.2%
助手席同乗者	26.7%
後部座席同乗者	41.3% (運転席の2倍以上)

※(財)交通事故総合分析センターの資料より抜粋 (H12年～H14年)

後部席シートベルト着用状態別の前席の死亡
重傷率

(平成7～11年、前面衝突、前席ベルト着用)



※(財)交通事故総合分析センター調べ (H7～H11)

運転席に比べ2倍以上
の率で車外放出で
死亡

シートベルト非着用
で前部席乗員は2倍
以上の死亡重傷率



◆衝突実験データ [JAFユーザーテスト]

①テスト条件

- ・フルラップ衝突 (車の前面をコンクリートバリアに衝突)。
- ・衝突時の速度は50km/hr。
- ・運転席、2列目右側、3列目右側にダミー搭載。
ダミーは運転席78kg、その他50kg。
- ・運転席はシートベルト装着、2・3列目は非着用。

②テスト結果

- ・3列目のダミーは撮影用ルーフから飛び出す。
(実際には天井に叩きつけられる状態)
- ・2列目のダミーは前席の背もたれに激しくぶつかり、前席乗員を
背もたれごと押し潰している。
- ・後席ダミーは体重の30倍の力で前に飛び出す。
(1.5tの力で背もたれに体当たり)

高速道路の要注意箇所マップ

NEXCO



NEXCO中日本HPの
バナーが入り口

http://www.c-nexco.co.jp - ヒヤリハット...

中央06 阿智PA付近 (下り)

重大事故発生 事故多発 急カーブ 急な下り坂



場所 中央自動車道 下り線
阿智PA付近

位置 下り線 259.2~259.8キロポスト付近

要注意ポイント

急な右カーブと下り坂のため、スピードの出し過ぎによる衝突事故が発生しています。特に雨天時にはスリップによる事故が多く発生しています。

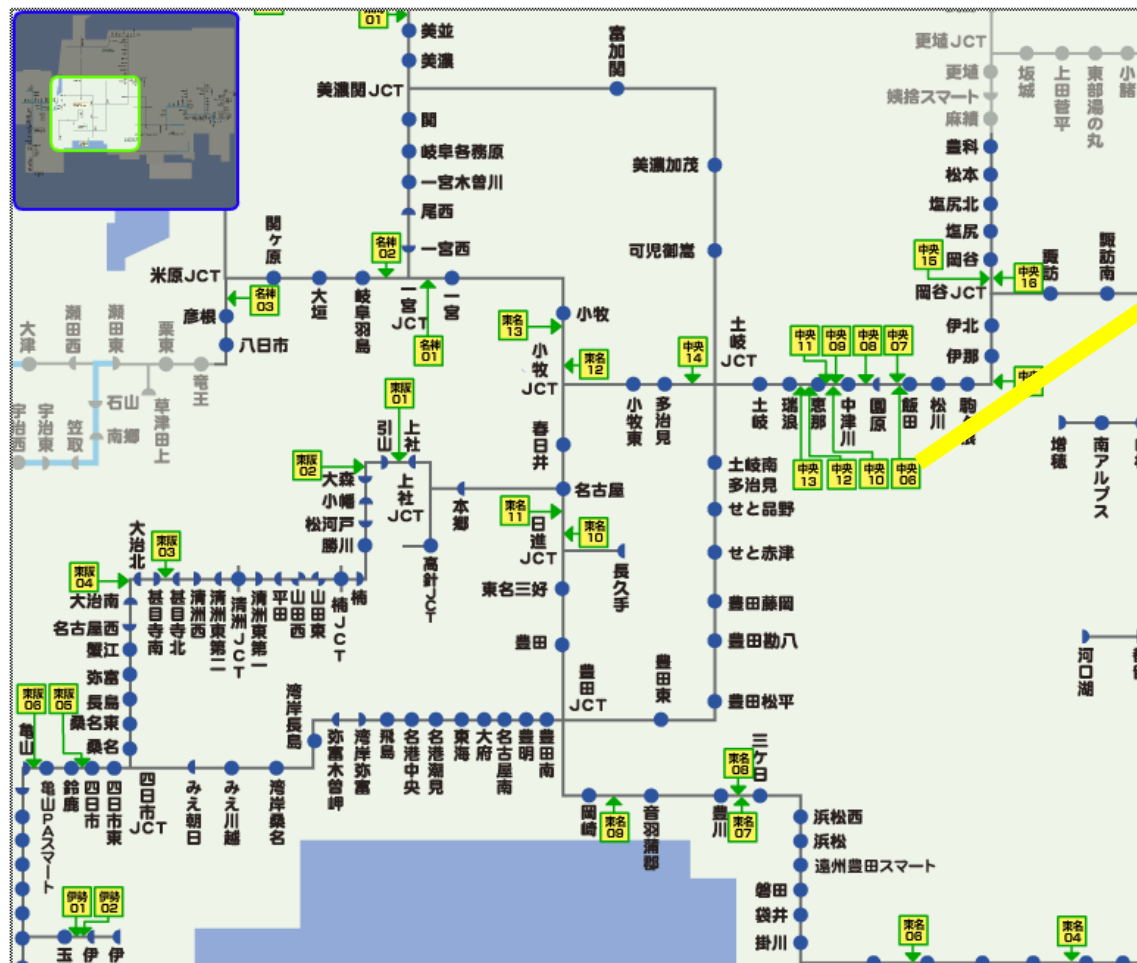
安全走行のために

下り坂のため、スピードを出し過ぎないように注意し、制限速度 (70km/h) を守って走行してください。

事故対策概要

- 薄層舗装
- 矢印板・矢羽根板
- 注意喚起標識
- 速度抑制レーンマーク
- LED注意喚起標識

ページが表示 インターネット



～ “安全”はNEXCO中日本の願いです ～

この他にも、お伝えしたいことがあります。
ぜひ、「高速道路交通安全セミナー」にお申し込みをお待ちしております。

<申込先>

中日本高速道路株式会社 名古屋支社
総務企画部 企画調整チーム

TEL:052-222-1181 (代表)